



私たち大人は子どもたちのロールモデルです

校長 米原 大司

今年の始業式・入学式は桜が満開となり、とても華やいだ雰囲気です。令和7年度が始まりました。ただ、3月あたりから天候が不順で、暑い日もあれば肌寒い日もあり、寒暖差が大きいので、子どもたちの健康が気になるところです。また、ゴールデンウィーク明けは、登校するのがおっくうになりがちです。御家庭で登校前のお子様の健康観察をしっかりと行い、元気に送り出してくださいませようをお願いいたします。

例年に比べると、1年生は明るく落ちついた表情で登校しています。4月28日(月)には1年生を迎える会が代表委員会の児童を中心に開かれました。とても温かい雰囲気です。会が進行し、最後は校歌を全員で歌って1年生の仲間入りを皆で祝福しました。

さて、子どもたちにとっては、身近な存在の大人が、ロールモデルとなります。ロールモデルとは、子ども自身の行動や考え方の手本となる人物を指します。つまり、家庭では保護者の皆様、学校では我々教職員がそれに当たります。

「子どもは後ろ姿を見て育つ」と言われますが、学校では特に学級担任の影響力は大きく、知らぬ間に子どもたちが担任の言い回しを使うようになりますし、ノートに書く文字も担任に似てきます。ですから、我々教職員は言葉遣いや立ち振る舞いを含め人として子どもの手本となれるよう行動してまいります。そして、子どもたちと思いを共有し、一緒に笑ったり悩んだりしながら、岸町小らしい温かな雰囲気の学校づくりを目指します。

本校は通学班がありませんので、登校時には多くの保護者の皆様がお子様と一緒にいらっしゃいます。その時に手をつないだり会話をしたりと、とても和やかな雰囲気です。見ている私も心が癒されます。お子様の成長とともに、親御さんではなく友達と登校することに代わっていくことも多いので、お子様と一緒に登校されている皆様は、朝のひと時を大切にしていきたいと思っております。

今の時期は1年生の保護者の方が多く、あいさつや交通安全に気をつけられているのがとてもありがたいです。まずは、保護者の方が進んであいさつをしたり、交差点で立ち止まって左右を確認したりして、自ら範を示していると思っております。その際、お子様がちゃんとできているか、必ず確かめてください。お子様があいさつや安全確認を自ら行ったときには、すかさず「よくできたね」とお声掛けください。こんな些細なことが、子どもをやる気にし、行動の習慣化につながります。ちなみに、正門と南門前には横断歩道があります。保護者の方の中には、あまり意識されていない方がいらっしゃいます。お手数ですが、保護者の皆様も斜め横断をせず横断歩道をお使いください。

地域の皆様は、本校の子どもたちを大切に考え、様々な御支援をしてくださっています。私たち教職員と保護者の皆様が子どもたちのロールモデルとなり、岸町小学校の子どもたちのために学校、家庭、地域が力を合わせてまいりましょう。